

経営学部 リフレクションペーパー

2022年度 <後期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 流通システム論Ⅱ（火曜2限・木曜6限の2クラス開講）
1. アンケート結果に対する総評 「この授業を受けて良かったと思いますか」という設問に対して、流通システム論Ⅱ〔火曜クラス〕が8.4、流通システム論Ⅱ〔木曜クラス〕が8.6であった。前期の流通システム論Ⅰと比べて若干評価が下がったものの、おおむね高い評価を得られたと考えている。前期につづき後期も授業時間を割いて授業中に回答するように指示をしたが、回答率は火曜クラスで18.2%、木曜クラスで12.4%といずれも低く、授業出席者でも教員の指示にもかかわらず回答に協力してくれない者も散見された。一部の受講者しかの回答協力しか得られない現状で、授業評価アンケートの結果がどれほど信頼できるのかについて、若干の疑問を禁じ得ない。
2. 授業を行う上で工夫した点、良かった点 コロナ罹患や濃厚接触者指定による欠席者が増えることを想定し、授業はすべて録画して欠席者向けにGoogle クラウドルームで配信した。また、SE やイラストをスライドショーに挿入したり、映像資料を多く用いたりするなどの工夫をこらした。これらはすべて前期と同様の取り組みである。自由記述欄では「スライドがみやすい」「録画を残してくれるのが助かった」というような回答があった。また、毎回実施される小テストの中で、質問や感想などを自由に記入できる欄を設け、Google Classroom 内でそれらを紹介する試みも実施した。アンケートでは「質問に対して Google Classroom でまとめて回答してくれるのでありがたい」という回答が1件だけあった。
3. 今後の改善点 今回のアンケートから得られた意見ではないが、通常授業時に、学生から「映像資料の音声聞き取りづらい」という意見・苦情を何度か受けることがあった。データ側（スライドショー用に映像を撮り直している）、教室のハード面（20号館の大教室は音が反響しやすい）の両方に問題があると考えられるので、次年度に向けて対応を考えたい。2020年度・2021年度は定期試験の実施に代えて期末レポートを課したため、流通システム論Ⅱでの定期試験の実施は久しぶりであったが、定期試験の結果は2019年度までよりも悪かったように感じられた。学生がレポートによる成績評価に慣れてしまったためかもしれない。授業後の復習を促し各回の講義内容の理解を定着させる仕掛けがさらに必要だろう。
4. 学生へのメッセージ アンケートへのご協力、ありがとうございました。